

(1) 概要

目標指標

全3項目のうち、1項目については基準値より上昇しているが、2項目については基準値より下降しており、全ての項目において目標値を達成していない。

- 【重要目標指標】安心して子どもを産み育てられる環境が整っていることの育児期の県民満足度
基準値：R元年 3.02 → R6年 2.94 (目標値：3.50 (R6年))
- 夫婦が考える「理想の子ども数」(平均)に対する「予定の子ども数」(平均)の割合
基準値：H30年 86% → R5年 90.1% (目標値：95% (R5年))
- 夫婦が考える「理想の子ども数」(平均)
基準値：H30年 2.35人 → R5年 2.33人 (目標値：2.50人 (R5年))

成果指標

全37項目のうち、今回把握可能な34項目において、上昇指標が20項目、横ばい指標が1項目、下降指標が13項目、半分以上の指標が上昇した。

【上昇した主な項目】

- 第1子出産前後の妻の継続就業率
基準値：H30年 52.8% → R5年 58.4% (目標値：55% (R5年))
- こども食堂が設置されている小学校区の割合
基準値：R元年 22.4% → R6年 54.0% (目標値：100% (R6年))

【下降した主な項目】

- 乳児健診(3～5か月)の未受診者の現認率
基準値：R元年 89.0% → R5年 81.6% (目標値：100% (毎年度))
- 仕事と子育ての両立ができることの育児期の県民満足度
基準値：R元年 2.85 → R6年 2.68 (目標値：3.00 (R6年))

(2) 計画の目標指標



指標	基準値	現状 (最新数値)	基準値との比較	目標値 (R 6年度)	調査等
【重要目標指標】 安心して子どもを産み育てられる環境が整っていることの育児期の県民満足度	3.02 (R元年度)	2.94 (R6年度)		3.50	県民アンケート調査
夫婦が考える「理想の子ども数」(平均) に対する「予定の子ども数」(平均) の割合	86% (H30年度)	90.1% (R5年度)		95% (R 5年度)	結婚・子育て 実態調査
夫婦が考える「理想の子ども数」(平均)	2.35人 (H30年度)	2.33人 (R5年度)		2.50人 (R 5年度)	結婚・子育て 実態調査








(3) 施策の成果指標



基本方針	指標	基準値	現状 (最新数値)	基準値との比較	目標値 (R 6年度)	調査等
I 妊娠期から切れ目なく子育て 家庭を支える	子育てに悩んだときなどに気軽に相談できる環境が整っていることの育児期の県民満足度	3.21 (R元年度)	3.18 (R6年度)		3.50	県民アンケート調査
	子育てに心理的・精神的な不安・負担を感じている母親の割合	49.8% (H30年度)	47.9% (R5年度)		40%以下 (R 5年度)	結婚・子育て 実態調査
	子育てに金銭的・経済的な不安・負担を強く感じている母親の割合	18.1% (H30年度)	32.4% (R5年度)		15%以下 (R 5年度)	結婚・子育て 実態調査
	子育て世代包括支援センターの設置市町村	28市町村 (H31年4月)	39市町村 (R5年4月)		全市町村 (R2年度)	健康推進課調べ
	乳児健診(3~5か月)の未受診者の現認率	89.0% (R元年9月)	81.6% (R5年度)		100% (毎年度)	奈良県市町村事業 実績報告(母子保健)
	安心して子どもを産出できる医療体制が整っていることの県民満足度	2.85 (R元年度)	2.89 (R5年度)		3.00	県民アンケート調査
	子どもがケガや急病時にいつでも診てもらえる医療体制が整っていることの育児期の県民満足度	3.03 (R元年度)	2.77 (R6年度)		3.50	県民アンケート調査

指 標		基準値	現状 (最新数値)	基準値との比較	目標値 (R 6年度)	調査等
I 妊娠期から切れ目なく子育て 家庭を支える	ハイリスク妊婦の県内受入率	97% (H30年)	98.8% (R5年度)		100% (R 5年度)	地域医療連携課調べ
	仕事と子育ての両立ができることの育児期の県民満足度	2.85 (R元年度)	2.68 (R6年度)		3.00	県民アンケート調査
	男性の育児休業取得率	5.0% (H30年)	28.4% (R5年度)		13%	職場環境調査
	ひとり親(母子)世帯の年収200万円未満の割合(回答のうち「わからない」「不明」を除く)	44.8% (R元年)	- (次回調査 R7年度予定)	-	40%以下	こども家庭課調べ
	保育所が充実していることの育児期の県民満足度	3.03 (R元年度)	2.91 (R6年度)		3.50	県民アンケート調査
	保育所等入所待機児童がいる市町村数	9市町村 (H31年4月)	13市町村 (R6年4月)		0市町村	こども保育課調べ
	放課後児童クラブ利用待機児童がいる市町村数	10市町村 (R元.5.1)	4市町 (R6.5.1)		0市町村	こども保育課調べ
	第1子出産前後の妻の継続就業率	52.8% (H30年度)	58.4% (R5年度)		55% (R 5年度)	結婚・子育て 実態調査
	なら女性活躍推進倶楽部の登録企業数	114 (R元年12月)	192 (R6年12月末)		200	こども・女性課調べ
	「社員・シャイン職場づくり推進企業」の登録数	196 (R元年12月)	244 (R6.12月1日)		250	人材・雇用政策課 調べ
	なら子育て応援団登録店舗数	1,744店舗 (R元年12月)	486 (R6年12月末)		1,800店舗	こども・女性課調べ
鉄道駅のバリアフリー化率 (平均利用者数3,000人/日以上駅の段差解消率)	77.4% (H30年度末)	83.9% (R2年度末)		100% (R 2年度)	リニア・ 地域交通課調べ	

指 標		基準値	現状 (最新数値)	基準値との比較	目標値 (R 6年度)	調査等	
II すべての子どもを健やかに大きく む	社会的に自立できる子どもが育っていることの育児期の県民満足度	3.04 (R元年度)	2.96 (R6年度)		3.50	県民アンケート調査	
	1 週間の総運動時間が60分未満の割合	小学5年生	男子: 9.6% [全国平均:7.6%] 女子:16.6% [全国平均:13.0%] (R元年度)	男子:9.7% [全国平均:9.0%] 女子:18.3% [全国平均:16.3%] (R5年度)	-	全国平均 以下 (R5年度)	全国体力・運動能力、 運動習慣等調査
		中学2年生	男子: 9.0% [全国平均:7.1%] 女子:23.2% [全国平均:19.4%] (R元年度)	男子:12.2% [全国平均:11.0%] 女子:27.4% [全国平均:24.9%] (R5年度)	-	全国平均 以下 (R5年度)	
	学校給食において地場産物及び県内製造品を活用している割合	19.7% (H30年度)	30.6% (R5年度)		増加 (R5年度)	体育健康課調べ	
	児童発達支援センターの設置市町村または圏域の割合	7.5% (H30年度)	80.0% (R6.11.1)		100%	障害福祉課調べ	
	通常の学級に在籍し個別の指導計画を作成している障害のある児童生徒（通級による指導を受けている児童生徒を除く）の割合	68.7% (H30年度)	96.4% (R5年度)		74.0%	特別支援教育体制 整備状況等調査	
	多文化共生を学ぶことのできる「なかまとともに」（県作成教材）の活用率	70.0% (H30年度)	83.1% (R5年度)		増加	人権・地域教育課 調べ	
	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせることの育児期の県民満足度	3.13 (R元年度)	3.22 (R5年度)		3.50	県民アンケート調査	
	こども食堂が設置されている小学校区の割合	22.4% (R元年12月)	54.0% (R6年10月)		100%	こども家庭課調べ	
	住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	小学校64.2% [全国平均:68.0%] 中学校46.1% [全国平均:50.6%] (R元年度)	小学校56.1% [全国平均:57.8%] 中学校32.5% [全国平均:38.0%] (R5年度)		全国平均 以上	全国学力・ 学習状況調査	
	コミュニティ・スクール導入率（小・中）	22.5% <全国平均>23.7% (R元.5.1)	52.6% <全国平均>48.6% (R4.5.1)		全国平均 以上	コミュニティ・スクール 及び地域学校協働 活動実施状況調査	

指 標		基準値	現状 (最新数値)	基準値との比較	目標値 (R6年度)	調査等
Ⅲ 困難な状況に置かれている子どもを守りはぐくむ	児童虐待による死亡事例	1件 (H30年度)	1件 (R5年度)		0件 (毎年度)	こども家庭課調べ
	子ども家庭総合支援拠点の設置市町村	6市町村 (H31年4月)	38市町村 (R6年3月末)		全市町村 (R4年度)	こども・女性課調べ
	里親登録数	121組 (H30年度)	146組 (R6.12.1)		146組	こども家庭課調べ
Ⅳ 次代を担う若者を応援する	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができることの「若者」の県民満足度	2.74 (R元年度)	2.93 (R5年度)		3.00	県民アンケート調査
	いずれは結婚しようとする未婚者の割合（18～34歳）	86.1% (H30年度)	82.8 (R5年度)		90%以上 (R5年度)	結婚・子育て 実態調査
	若者のための居場所登録数	12 (R元年12月)	16 (R6年10月末)		20	教育振興課調べ
	職場実習参加者（若年無業者）の半年以内の就職率	68% (H30年度)	39% (R6年3月末)		70%	人材・雇用政策課 調べ

※県民満足度は、十分満たされている=5点、かなり満たされている=4点、どちらともいえない=3点、あまり満たされていない=2点、

ほとんど満たされていない=1点として、加重平均で算出

※県民アンケート調査については確報値。